



拝三小の教育

昭島市立拝島第三小学校
校長 松井 茂

学校HP. www.city.akishima.ed.jp/~hajima3

TEL.042-541-1274 FAX042-541-7907

「ことばが きみの はねになる」

これは、「2026 こどもの読書週間」標語募集において選ばれた作品です。作者は、「子どもの頃、祖父が営んでいた書店が好きでした。あの本たちが、ことばたちが、私の羽根となり未来を彩ってくれました。次は私が届ける番です。たくさんの本が子どもに届くよう、そしてそのことばが子どもたちの羽ばたく力となるよう願っています。」と語っていたそうです。



同じ本を読んでも、それを読んだ人によって感じることは千差万別です。その人にとって読んだ本との素敵な出会いや数々の言葉が影響を与えてくれる、そんなワクワク、ドキドキすることを願いつつ、そういったことをそれぞれに感じ取ってほしいと思います。

昨年度、本校の図書館から貸し出した本は1万2千冊程です。今年度は、更に読書を進めていきたいと思います。毎週木曜日の朝読書、先生や図書支援員の方の読み聞かせ、図書の時間や昭島市民図書館の活用、読書記録など様々な機会を捉えて本に触れる時間を工夫して取り組んでいきます。

この読書を通して、新たな発見や疑似体験をすることができたり、夢を膨らませたりすることができます。そうしたことから、読む力や想像力、書く力にも影響が出ていきます。

4月の保護者会でもお伝えしましたが、今年度のキーワードは、「言葉、言語環境、読書」です。今年度から新たに始める毎学期の俳句大会でも、子どもたちがどんな言葉を選び、感情や情景を表現してくれるか今から楽しみです。学年で一句、校長賞を選ぼうと思っています。

ある調査によると中学生の割と多くが教科書を正しく読めていないことがあるそうです。一人1台のタブレットが貸与され、授業ではその時間のめあてが達成できるように有効に活用しています。そのことによって、授業が楽しくなった、分かったなどの子どもたちの声が聞こえてきます。当たり前になるようになってきたり、もうすでに社会の中で使われ始めているAIを駆使していったりする時代だからこそ、読む力や創造力を高めていけるようにしていきたいと思います。

教科書をよく読んで考え、ノートにまとめ、課題解決のために自分で調べるなどの探究活動を重視していきます。情報を正しく読み、書く力も必要と考えます。

4月23日は「子ども読書の日」でした。この日から5月12日迄は「こどもの読書週間」です。ゴールデンウィークや週末など、図書館や書店に出かけてみると思いもよらない本と出合えるかもしれません。そういった一時を親子でつくってみてはいかがでしょうか。